

Wリーグ創設 20 周年記念式典レポート

～20 年の重みを受け止め、さらに前進するWリーグへ～

「第 20 回 W リーグ開幕記者会見」が行われた後、会場を移して「W リーグ創設 20 周年記念式典」が行われた。オープニングは、20 年の足跡を振り返る『20Years MOVIE』の上映から。短い時間ながら、懐かしいシーンが次々と映し出され、多くの出席者たちから自然と拍手が贈られた。



その後、挨拶に立ったのは一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ（WJBL）の斎藤聖美会長と、公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）の三屋裕子会長。斎藤会長は、W リーグのサポートへの感謝や、今後の発展の決意を言葉にし、三屋会長はカテゴリーを問わず好成績を収めている女子日本代表の活躍に触れ、W リーグが果たしてきた役割の大きさを、さらなる期待に力を込めた。



そして、「FIBA 女子ワールドカップ 2018」の代表選手、高田真希（デンソー）、本橋菜子（東京羽田）が登場し、花束贈呈のセレモニーが行われた。続けて「FIBA 3x3 U23 ワールドカップ 2018」で銀メダルを獲得した、馬瓜ステファニー（トヨタ自動車）、小山真実（東



京羽田）、栗林未和（富士通）、山本麻衣（トヨタ自動車）が登場し、栄誉を称える花束贈呈が行われた。登壇した 6 人の選手は挨拶に立ち、スタッフや関係者への感謝の言葉を述べたが、その後全員が口にしたのが“2020 年東京オリンピックに向けた決意”。彼女たちのコメントは、Wリーグで競い合う仲間はライバルでもあり、Wリーグでの切磋琢磨が日本の女子バスケの向上に不可欠なことを改めて示した証でもある。

20 周年記念式典は続き、多くの優秀な選手を輩出してきた桜花学園高等学校の井上眞一氏、大会開催や運営で多大な貢献があった愛知県バスケットボール協会の特別表彰の他、パートナーアワード表彰セレモニーも行われた。功労賞の表彰では大神雄子（トヨタ自動車※欠席）と高橋礼華（日立ハイテク）の名が告げられ、最後は特別企画として「あの日あの時……～第 1 回Wリーグを振り返る～」と題したスペシャルトークショーへ。



第 1 回Wリーグのベスト 5 受賞者、永田睦子（MVP）、加藤貴子、三木聖美のシャノン勢に、大山妙子、濱口典子のジャパンエナジー勢（旧姓、所属先は当時。三木、濱口両氏は欠席）。オリンピックや世界選手権などに出場したキャリアを誇るレジェンドたちの思い出話は感慨深く、会場のあちこちで共感の拍手で沸いた。



Wリーグ公式応援ソングを歌う J☆Dee'Z のスペシャルパフォーマンスの後、12 チームのキャプテンが壇上に勢ぞろいし、代表して吉田亜沙美が決意表明を行い、西井歳晴 WJBL 専務理事の閉会の挨拶で終了を迎えた。多くのファンや関係者によって支えられ発展し続けた W リーグの足跡を振り返る記念式典という意味だけではなく、未来へ続く確かな道筋が示された時間だったに違いない。